

研究計画書

ゼミ名	上島ゼミⅡ	チーム名	Team 康弘
タイトル	WLB を実現する働き方改革とは？		
テーマ群	c)公共経済		
メンバー	榎本涼汰 栄千夏 土井康平 中右朋香 中川夏希 西村史樹 野田明日香 濱地修平 福田宜史		
研究計画内容	<p>『ワーク・ライフ・バランス』という言葉を目にする機会が増えたが、その意味を知らない学生は多い。今回、それがどういう効果を持ち、なぜ今必要なかを問いたい。加えて、現状の問題点を指摘して、その解決策を提案したい。</p> <p>『ワーク・ライフ・バランス』が注目されるようになったのは、共働き世帯が増加して、働き方の見直しを求める動きが出てきたためだ。理由として、女性のなかにキャリア志向の人が増えたことである。また、子供一人を育てるのに 3000 万円かかると言われる時代に、夫の収入だけに頼っていれば生活が厳しいことなどが挙げられる。</p> <p>ここではどうしたら子育てしながら働きやすくなるかを考えたい。両立支援は、働く者と企業の双方に利益を生む“win-win”を実現できなければならない。よって、会社の制度や雰囲気づくりが必要であると同時に、働く人たちのスキルアップが不可欠だと考える。</p> <p>わたしたちは、住友生命保険でインタビューを行い、また、保育園を利用する父母にアンケートを行う。インタビューでは、会社の取り組みを問う。女性が働きやすい会社として制度や雰囲気づくりをどう工夫しているのかを問う。他方、アンケートでは、働く人たちの要望を問う。自分たちの働く会社の制度や雰囲気、また働き続けるには何が必要なのかを答えてもらう。</p> <p>研究を通して、今、子育てしながら働き続けるために本当に必要なことは何かについて、自分たちのたどり着いた考えを述べたい。それに基づいて、働く人と会社の双方に利益を生み、働き続けられるような制度や体制を提案する予定である。</p>		